

市民意見募集の実施概要と結果

1. 実施概要

(1) 募集期間

平成30年6月1日（金）から 6月15日（金）まで（15日間）

(2) 提出方法

- ①ハガキ
- ②電子メール
- ③FAX
- ④郵送または持参
- ⑤横浜市電子申請・届出システム（インターネット）

2. 実施結果

(1) 提出者数 **14通**

提出方法による分類 ②電子メール 8通
 ⑤インターネット 5通
 ③FAX 1通

(2) 意見数 合計 **58件**

分類 (複数の分野に関連する意見は代表的な項目を選出)		意見数			
		修正 追記 意見	今後の 取組へ の要望	賛同 意見	計
	マスタープラン改定案全体 について		2	5	7件
第1章	京浜臨海部の概要 について	1		1	2件
第3章	1. 技術革新により世界をリードする産業空間 (グローバルイノベーション) について	2	3	1	6件
	2. 多くの人で賑わう魅力ある産業観光(インダ ストリアルエンターテイメント) について	1	3	1	5件
第4章	1. 新たな魅力の創出に向けた都市空間の形成 について	2	4		6件
	2. 地域を支える交通環境の充実 について		13	1	14件
	3. 社会の持続可能性に貢献する環境システム の形成 について	3	3	1	7件
	4. 災害に強い産業空間の形成 について	3			3件
第5章	プラン実現のための体制 について	1			1件
第6章	エリアプラン について	1	1	1	3件
	その他		4		4件
計		14件	33件	11件	58件

ご意見	ご意見の分類	ご意見に対する考え方
全体		
現在進行中⇒できていることは見せていけばいい。広報活動することが今できること。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
京浜臨海部の企業・会社・研究機関の紹介や見学の案内の紹介等より詳細な情報を横浜市でのHPで紹介したら良い。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
京浜臨海部の役割が産業から世界に発信できる研究開発の拠点やその研究が体験・体感できる地域の賑わい創出の場所を目指すマスタープランは非常によいと思う。ぜひその方針を進めてほしい。	賛同意見	
マスタープランは大いに期待できる内容であった。実現に向けて官民一体となって取り組んでいただきたい。	賛同意見	
20年前策定の「マスタープラン」と比較すると、市民にとって大変わかり易く仕上がっている。	賛同意見	
京浜臨海部に立地する企業として、方向を明示していただいたことは、今後を考えるにあたっては大変参考になる。	賛同意見	
一社での開発＝「点」から、隣接企業を取り込んだ開発＝「面」が可能となり、京浜臨海部再活性化に大きく寄与できる開発が期待出来る。	賛同意見	
〈第1章〉京浜臨海部の概要		
扇島地区に関し、『エネルギー供給拠点』LNGに関する記載を提案。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ第1章、第2章に追記しました。
京浜臨海部のポテンシャルについて、様々な視点から非常にわかりやすく、かつ、具体的に素晴らしい。歴史的な背景や、現在の交通インフラや大学の数など、今まであまり十分理解されていない面が明確になっている。具体的な企業名・施設数や分野などが入るともっとインパクトがある。	賛同意見	
〈第3章－1〉グローバルイノベーション		
シェールガス由来の LNG を横浜で受入れの写真掲載を要望。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ第4章-1に写真を追加しました。
「技術」を「科学技術」としていただきたい。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ第3章の文章を修正しました。
企業誘致: 企業本社や研究機関の誘致を強化するとともに、研究棟立地の際の助成枠を強化していくことも必要。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
新しい技術の導入や新規産業を起すための、規制緩和や呼び水としての公的助成の視点も今後必要。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
改定案で提案されている交流スペースや最先端技術の実践地域としての整備を通じて、地域を訪れることで自ずと科学技術等への好奇心が育まれるエリアとなることを期待する。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
研究開発機能の集積と製造機能との融合は、まさに、この地の特徴をよく表しているし、ますます今後も横浜が進む道でもあり、日本の産業界が進むべきでもあると考える。「オープンイノベーション」は非常に重要。	賛同意見	
〈第3章－2〉インダストリアルエンターテインメント		
産業と一体となったエンターテインメント、産業のすそ野を支える人々のスキルの高さや意欲を示すエンターテインメントというようなメッセージを入れることができると素晴らしい。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ第3章の文章を修正しました。
地域の総合案内的な施設を創設し、立地企業、環境先進施設、地域変遷等を紹介し、地域としてPRすることを期待する。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
現行産業観光は各施設個別の対応が中心で地域ブランド力になっていない。各施設の連携に加えて、水辺や緑地、産業景観を含めた地域の魅力を巡る回遊性の向上で地域ブランド力につなげることを期待する。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
京浜臨海部の産業観光は、複数の工場が既に実施しており、それらを融合して実施するだけでも訴求効果が高い。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
「水上交通」に言及されたことにより、新たな魅力の発信が可能になる。	賛同意見	

ご意見	ご意見の分類	ご意見に対する考え方
〈第4章-1〉新たな魅力の創出に向けた都市空間の形成		
現状あるものを研究開発や賑わい拠点とすること、新たなコンセプトとしてスポーツ人材育成の拠点をプランでぜひ検討いただきたい。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ第4章-1に追記しました。
保育園の整備やバリアフリーというようなハード的な部分も大切であるが、「普通だけど、快適な、他の都市にはない、居心地の良い都市空間」を目指すということが重要。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ第4章-1の文章を修正しました。
遊休土地や遊休設備の有効活用の地区としての促進の視点も今後必要。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
魅力的な都市空間⇒イメージアップにはもっと力を入れたい。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
遊休地の活用は重要な課題であり、規制緩和等の措置を実施していただけると遊休地活用が進むため是非、お願いしたい。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
京浜臨海部に下水道を整備していただけると企業の活性化につながる。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
〈第4章-2〉地域を支える交通環境の充実		
臨港幹線道路未開通の瑞穂埠頭～大黒埠頭方面、及び新港埠頭～山下埠頭までを早急に事業化すべき。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
グリーンラインの鶴見～日吉～港北NT～中山～二俣川～東戸塚～別所～上大岡～岡村～滝頭～根岸の全区間開通にむけた事業化を急ぐべき。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
相鉄JR直通線の鶴見停車実現に向け国交省やJRIに鶴見停車を強く働きかけ、国県への交付金・助成・補助を申請すべき。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
エリアの開発と共に交通モードの創出も必須。横浜ならではの水上交通網の構築は、ぜひ横浜市が主導し整備を進めていただきたい。新交通も同様。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
外国人を含めた多様な人材を受け入れるための、ソフト面および交通・インフラ面での整備の視点も今後必要。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
マストラは貧弱であり、鉄道/道路の整備は用途転換にあたっては不可欠。是非横浜市のまちづくり部局として今後は民間企業と共に前面にたって、対応いただきたい。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
幹線道路と歩行者空間の重なりを解消を今後望む。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
公共交通サービスの低さを補うパーソナルな移動手段の導入を今後望む。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
地域を支える交通環境については周辺の活発化のためにもぜひお願いしたい。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
周辺道路の迷惑駐車についても、道路環境の整備と上記交通環境の整備で効果が見込める。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
新たな地域交通サービスは歓迎すべき取り組みであり、早期に整備をお願いしたい。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
緑地を含めた遊歩道の整備と合わせ、地域の人々の動線を考慮したプランに期待する。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
国道1号線は飛ばしている車が多く、タクシーがつかまりにくい。⇒バスの活用&水路の活用も検討すべき。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
広域交通ネットワークと地域交通ネットワークは、両方が充実してこそ、両方の機能が生きる。まさにこのマスタープランの趣旨・目指すものが、これから考えていく方向性である。	賛同意見	

ご意見	ご意見の分類	ご意見に対する考え方
〈第4章-3〉持続可能な環境システムの形成		
高効率・低炭素なエネルギー体系の構築にあたっては、エネルギー事業者等による支援や取組に関する補助金など融資等の施策の検討を提案。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ第4章-3に追記しました。
京浜臨海部に存する清掃工場や北部汚泥資源化センターから発生する電力は、環境価値が高いことから、有効利用することを提案。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ第4章-3に追記しました。
「東部方面斎場(仮称)」を整備するにあたっては、中圧ガス導管によるコージェネレーションシステムの導入を提案。	修正・追記意見	今後の取組の参考にさせていただきます。
地域内をつなぐ公有地、民有地の緑の創出を今後望む。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
地域外につながる自然力のある緑の創出を今後望む。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
水辺を身近に感じることができる水辺空間の創出を今後望む。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
環境について、マスタープランの目指す方向性が非常にわかりやすく、だれにでも納得感がある。	賛同意見	
〈第4章-4〉災害に強い産業空間の形成		
『南区総合庁舎と市民総合医療センターのエネルギー連携』のイメージ図を掲載することを提案。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ、第4章-4に追記しました。
「防災機能向上という観点から、耐震性の高い中圧ガス導管を導入した自立分散型エネルギーシステムの導入」を提案。	修正・追記意見	今後の取組の参考にさせていただきます。
中圧ガス導管供給をうける自家発電装置等について導入促進を図る制度支援について提案。	修正・追記意見	今後の取組の参考にさせていただきます。
〈第5章〉プラン実現のための体制		
京浜臨海部の発展には川崎市との連携が大切なので、臨海部ビジョンとの連携は良い事。県とは連携せずに、横浜市と川崎市でやっていくという理解でよいのか。	修正・追記意見	横浜市と川崎市に加え、神奈川県と連携していくことが重要であることを踏まえ、第5章を修正しました。
〈第6章〉エリアプラン		
新子安ゲートアイランドとツインフロンティア末広地区の違いが分かりにくい。	修正・追記意見	ご意見を踏まえ、第6章を修正しました。
新子安の再開発が計画されており、大変期待をしている。あのスペースの少ない駅前をどのように再開発進めていくのか、具体的な実行案があるのであれば、公表を希望。	今後の取組への要望	現在のところ具体的な計画案はありませんが、今後鋭意取組を進めて参ります。
ウォーターフロント、ツインフロンティア、中央卸売市場等、目新しい取り組みである。「注目してもらうこと」が重要。	賛同意見	
その他		
マスコミは、「初」や「最●」がつくと訴求しやすい。民間だけではなく、横浜市も関与して「官民協働」を打ち出せば、記事化→認知度・好意度の向上に繋がる。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
地区全体として、特色ある京浜地区の技術や産業ノウハウを次世代へどのように教育・伝承していくかの視点も今後必要。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
どこの課に、どんな手続き・届出が必要かを教えていただけるような、ワンストップ窓口的なところがあると大変ありがたい。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。
横浜市内の大学や研究機関等から有識者を企業に派遣していただき、企業ニーズに応じた指導・助言を受けられる体制があると、企業活動の活性化にもつながる。	今後の取組への要望	今後の取組の参考にさせていただきます。